

みとおし

—牛枝肉・豚枝肉・鶏卵・食鶏—

今月の市況

上げるか？

牛枝肉

6月以降の枝肉価格は多少の変動はあったが、順調に取引され9月以降の大阪市場での平均相場は、メス370～380円、ヌキ375～395円を推移している。10月に入れば消費も一段と強まるとともに大阪中央市場での冷蔵庫保管は、50%と減少を示しているので、相場は全体に引き締るものと予想される。

横バイ

豚枝肉

全国的にも飼育頭数が増加しているが、6月以降小巾ながら上げ続け消費も順調に伸び10月に入ればオリンピックもあり、消費は一段と強まり、今後大巾な入荷は見込まれないので、相場は強含みに推移するものと予想される。

期待薄

鶏卵

8月下旬から9月中旬の鶏卵価格はほぼ順調で全販大阪支所の一級高値は180～195円を推移し、1日の入荷量も155t～170tであった。10月に入れば競合食品（さんま、さば）の出廻りと春雛の産卵が本格的に開始されるので、生産量も増加するだろう。しかし、オリンピック開催期間中と牛肉、豚肉、ブロイラーの高騰から商いは鶏卵に移ることが予想され消費の伸びも期待され全販大阪支所1級高値で200円を前後するものと予想される。

強い

食鶏

今年の夏の暑さのため、えさ食いが悪く特大ビナ、大ビナの出回りが特に少ない。2月から7月までの安値のため副業でやっていた連中が止めるなど2割以上の減少をみている。9月9日で大ビナ220円（大阪）つけており、9月以降は消費が伸びるし、オリンピックも目前であるなど、今後も高値続きでいこう。冷蔵庫ものも出ているが日持ちが悪いため、ここ当分荷がだぶつくこともなかろう。